



磯 響貴 (イソ ヒビキ)

千葉県立市川工業高等学校 建築科

ホワイトシップ

～公園と一体となるショッピングモール～

都市部では公園のように、気軽に理由もなく人が集まれる場所が少なくなってきたように思える。そのため家に居ることが多くなった人々に、特に理由もなく、出かけてみようと思う場所になるショッピングモールを計画する。

お客さんがゆったりと、公園にいるように過ごせることを目的とした。休憩をとれるスペースを多く設けることにより、時間を忘れて買い物ができる空間に左右対称に店舗を配置することにより、お客さんの導線が変わらず、密度が低くなりストレスを感じることなく、過ごせるショッピングモールとなる。

気軽に理由もなく人が集まれる場所、特に理由もなく、出かけてみようと思う場所になるショッピングモールとして計画された。津田沼駅に面してエントランス、階段等が配され、U形状の平面を持つ3階建ての計画となっている。模型等で広場部分と公園部分の一体感がもう少しわかりやすく表現されておれば、設計主旨が理解されやすかったのではないのでしょうか。また、南側には

大規模なショッピングビルが存在することから、その部分との空間的連続性も考慮されたらさらに良かったと思います。



審査員：園部 隆夫

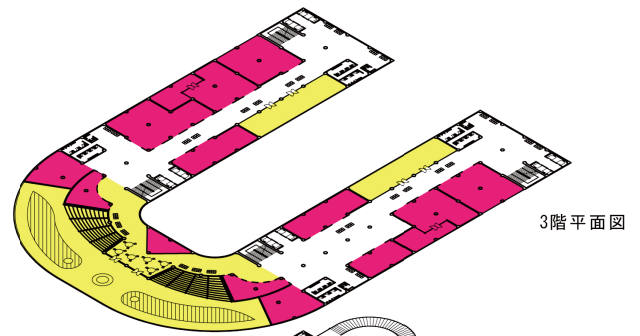
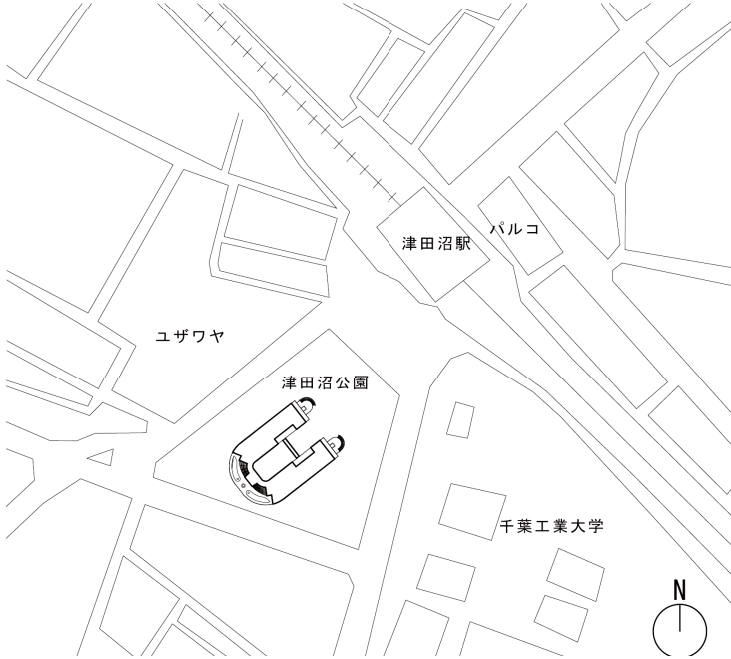
ホワイトシップ

～公園と一体となるショッピングモール～

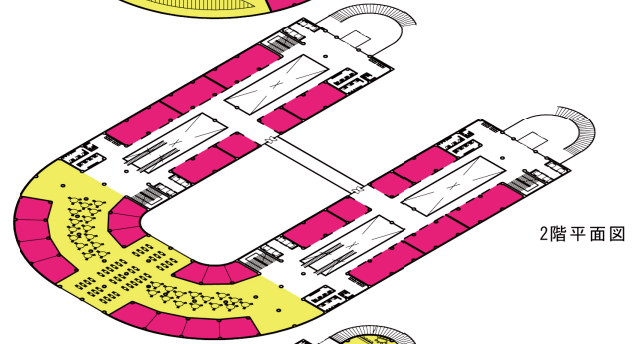
都市部では公園のように、気軽に理由もなく人が集まれる場所が少なくなって来たように思える。そのため家に居ることが多くなった人々に、特に理由もなく、出かけてみようと思う場所になるショッピングモールを計画する。

お客さんがゆったりと、公園にいるように過ごせることを目的とした。休憩をとれるスペースを多く設けることにより、時間を忘れて買い物ができる空間になる。

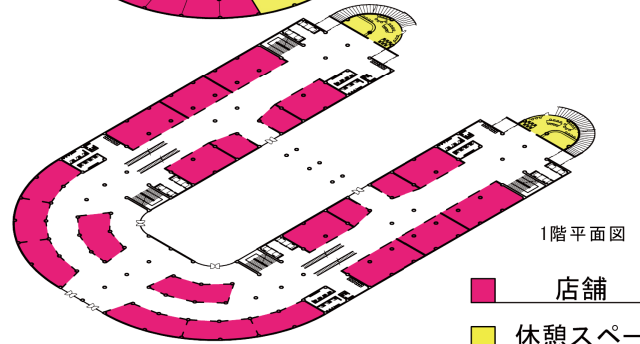
左右対称に店舗を配置することにより、お客さんの導線が交わらず、密度が低くなりストレスを感じることなく、過ごせるショッピングモールとなる。



3階平面図

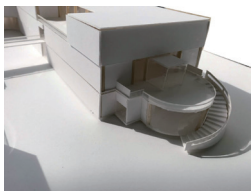


2階平面図



1階平面図

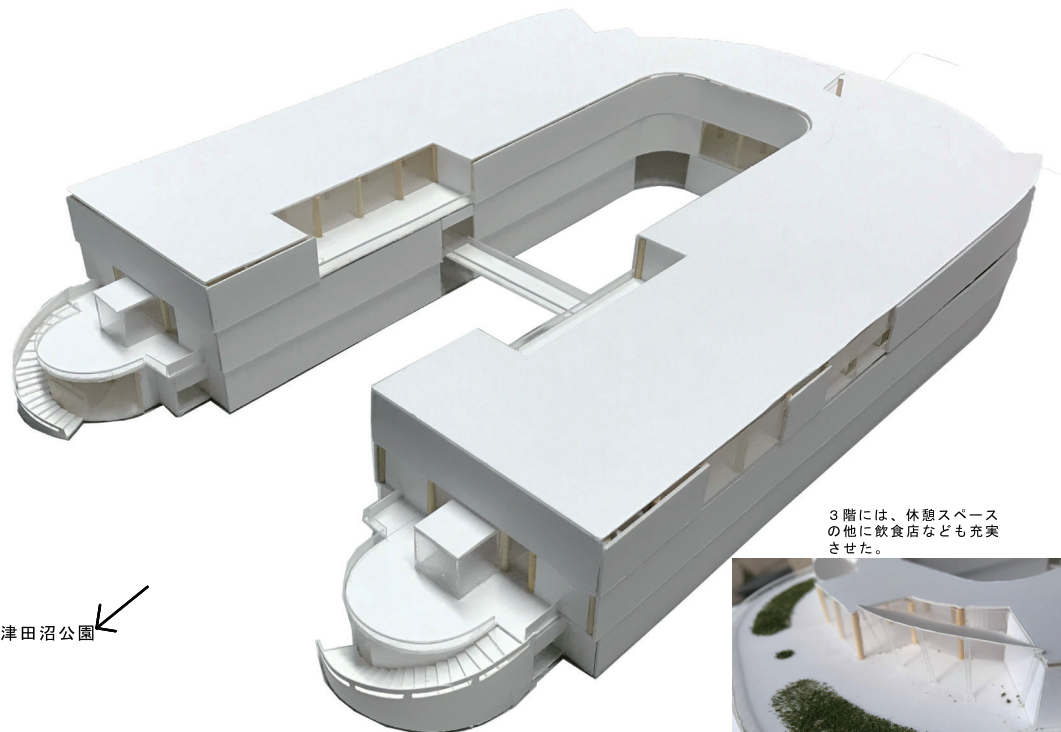
- 店舗
- 休憩スペース



一階のカフェを楽しむことができる。



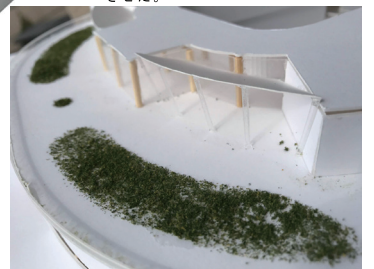
3階から広場などが見渡せる



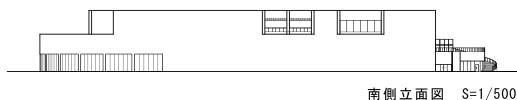
津田沼公園

中心部分は広場として、イベントスペースなどとして活用する。広場を公園と仕切らないことにより建物と公園の一体感を演出した。

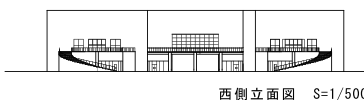
3階には、休憩スペースの他に飲食店なども充実させた。



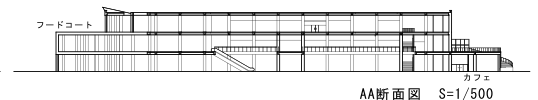
緑を多く取り入れ開放的な場とした。



南側立面図 S=1/500



西側立面図 S=1/500



AA断面図 S=1/500